

令和6年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 向洋 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、数学）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学）

教科に関する調査（国語、数学）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問調査

生徒質問調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

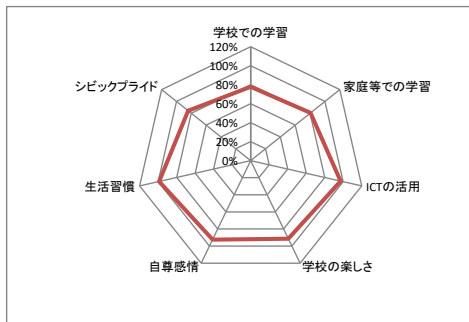
(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学）の結果

本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.5	57	7.8	49
全国	8.7	58	8.4	53

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことについては、よく理解できている。一方で、目的に応じて必要な情報に着目して要約すること等の「言葉の特徴や使い方に関する事項」については課題が見られる。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	話し合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む問題	
	努力が必要な問題	漢字を書く問題・本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する問題	
数学	全体的な傾向や特徴など	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題等の「データの活用」については、よく理解できている。一方で、筋道を立てて考える証明等の「図形」については課題が見られる。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる問題	
	努力が必要な問題	回転移動について理解しているかどうかをみる問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析
・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」との問いに対して約90%の生徒が肯定的に回答している。
・「自分には、よいところがあると思いますか」「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の問いに対して、肯定的に回答した割合が低かった。
・「家庭学習においてICTを活用している」と回答した割合が低かった。今後は、デジタル教材について検討し、家庭学習で活用できるように環境を整備していきたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

国語：スピーチ学習等を取り入れ、聞き手の立場に立った効果的な話し方の工夫や自分の考えを伝えるために必要な情報を引用する取組が重要である。 数学：確認テストで既習事項を復習しながら、基礎的・基本的な知識・技能を高めていく。問題の解き方や考え方の発表等を通して、思考力・判断力・表現力を伸ばす。

② 家庭生活習慣等に関する取組

家庭学習に対して肯定的な回答は多いものの、復習や見直しには時間が割けていない状況がある。向洋ノートでの学習は習慣づいているため、今後は内容（復習や見直し）について、より重点的に指導をしていきたい。さらに、計算問題等で補充学習・学習コンクールを実施し、個人・学級集団の学力向上と学習意欲の高揚を目指す。